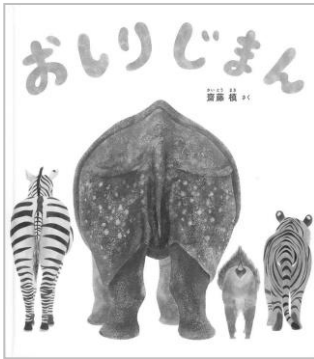


# 子どものほん

## 2023


### 幼児



ちょうふしりつとしょかん  
調布市立図書館

## えほん


### あるあさ、ぼくは…

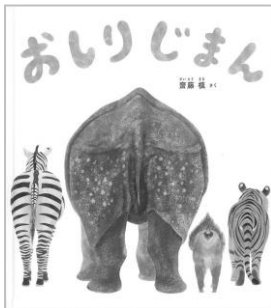
エッツさく 好学社 



ある朝、ことりとねこに出会ったぼくは、「ことりみたいには とべないけど」、ねこの動き方をまねしてみます。それからおんどり、ぶた、うさぎのまねをして…。子どもの一人遊びの世界が、丁寧に描かれています。

### おしりじまん

齋藤槇さく 福音館書店 



「わたしの おしり まんまるおしり」一体だれのおしりでしょう？

動物たちが後ろを向いて、自慢のおしりを見せています。動物の「おしり」をテーマにしたユーモラスな1冊です。

# えほん

## かみなり

武田康男写真 小杉みのり文 岩崎書店 夕



夏にできる「にゅうどうぐも」が大きくなると、「かみなりぐも」になります。

どうやって雷がで、どうして落ちるのかを、豊富な写真とやさしい文で教えてくれる絵本です。

## くさむらのかくれんぼ

今森光彦さく 福音館書店 イ



「いる いる はっぱに かくれんぼ かかっているのだれだろう」

葉っぱや花びらを日光に透かすと、昆虫の影が浮かび上がります。何の昆虫がかかっているか、想像して楽しめる写真絵本です。

## えほん

### すいどう

百木一朗さく 福音館書店 モ



私たちが暮らして使っている水は、すべて水道管で送られてきます。雨水がきれいになって私たちの元に届き、使った水が海に還るまでを、シンプルな分かりやすい絵で紹介しています。

### ちやぷちやぷーん

得田之久文 及川賢治絵 福音館書店 ト



「ぞうさん みずあそび ちやぷちやぷじゃー」

「くまさん おすもう どすどすどっすん」

子どもに身近な動物がたくさん登場します。鮮やかな色彩の絵と、言葉のリズムが楽しい絵本です。

## えほん

### でんしゃがきた!

石橋真樹子さく 福音館書店 イ



今日はお父さんとお散歩です。電車の音が聞こえてきました。トンネルの下や歩道橋の上から、電車が通り過ぎるのを眺めます。様々な場所から走る電車を見たり、その音を聞いたりする楽しさが感じられる作品です。

### とびらのむこうにドラゴンなんびき?

カール作・絵 徳間書店 カ



13人のひめさまは、未っ子ガンヒルダが仲良くなったドラゴンを、お城の塔でこっそり飼い始めます。両親に見つかり、ドラゴンを森に返すこととなりますが、太ってしまったドラゴンを、塔から出すことができません。

## えほん

### なかよしの犬はどこ？

サットン作・絵 徳間書店 [サ]



引っ越しをして遊ぶ友達がいないペニーは、黒と茶色のぶちのある犬と出会います。ペニーと犬は、また遊ぶ約束をしますが、次の日犬は姿を現しませんでした。ペニーは犬を探そうと、行く先々で聞いて回りますが…。

### ぶるばびぶーん

ささきしゅんさく 福音館書店 [サ]




「ぶるん ぶるるん ぶるばびぶーん」

赤い車は元気よく坂道を登ったり、そっと橋を渡ったりして、色々な道を進んで行きます。思わず「ぶるばびぶーん」と声に出して読みたくなる 1冊です。

# えほん

## ゆかしたのワニ

ねじめ正一文 コマツシンヤ絵 福音館書店 



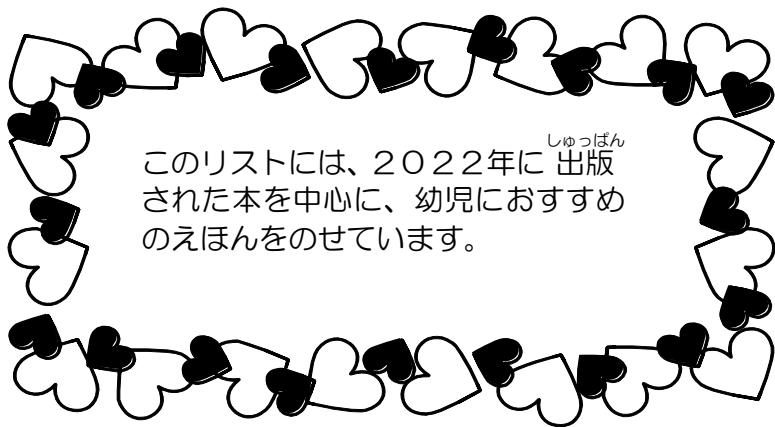
ぼくの家の床の下にはワニが住んでいます。夜になるとぼくは、ワニのハミガキをしに行きます。ようじで鶏肉の筋を取ったり、口の中に入れて歯を磨いたりします。ワニに食べられそうになると…。

## わたしがテピンギー

中脇初枝再話 あずみ虫絵 偕成社 



母親を亡くしたテピンギーは、いじわるな新しい母親のせいで、知らないおじさんの召使いにされそうになります。そこでテピンギーは、友達にあるお願いをします。テピンギーの機転や歌が楽しいハイチの昔話です。



このリストには、2022年に<sup>しゅっぱん</sup>出版された本を中心に、幼児におすすめのえほんをのせています。

本をさがすときは、

工・サ

などのラベル<sup>ばんごう</sup>番号を見てください。

<sup>ひょうし</sup>表紙の写真は

『あるあさ、ぼくは…』（好学社）

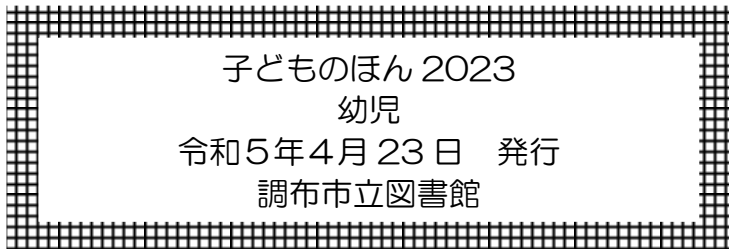
『おしりじまん』（福音館書店）

『でんしゃがきた!』（福音館書店）

より

刊行物番号

2023-37



子どものほん 2023

幼児

令和5年4月23日 発行

調布市立図書館